

春です！ 予防が始まりますよ

フィラリア

ノミ・マダニ

狂犬病予防



フィラリア予防には、例年どおり錠剤タイプのものとお肉の固まりチュアブルタイプのものを用意しています。投薬の前に血液検査を行います。

ノミ・マダニの予防には、フロントラインスポット（首筋につける液体）を用意しています。

狂犬病の注射の時には、愛犬手帳と市からのハガキを持参して下さい。

家ではおとなしいけど、病院に来ると怒ってしまうワンちゃんは、お家から口輪をしてくるのもいいかもしれませんね。写真のように、プラスチック製の口輪が苦しくなくて安心です。市販でも購入できますし、当院にも置いてありますのでご相談下さい。



フィラリア・ノミ・ミミヒゼンダニ（耳ダニ）・回虫（おなかの虫）の4つが予防できるレボリューションという首筋につける液体を用意しています。（ワンちゃんにも同様のお薬はありますが、フィラリアの感受性が高いことで確実に服用させる飲み薬にしています）

ノミ・マダニの予防だけでよいという方は、従来どおりフロントラインスポットも用意していますので、ご相談下さい。



昨年より、ネコちゃん同様にレボリューションを使用しています。チュアブルタイプ、粉薬も用意していますので、ご相談下さい。

例年、土曜日の診察は混み合います。平日（特に午前中）にご来院いただくと、比較的スムーズに診察ができると思います。

コングポイント

まいちゃん、のんちゃん、ゆうちゃんの

アドバイス



飼い主さんの中にはワンちゃんをおうちでシャンプーされる方も多いと思います。これからの季節、少しずつ暖かくなってくと皮膚病などで来院されるワンちゃんが増えてきます。そこでもう一度正しいシャンプーの方法を見直してみましょう。

「どのくらいの頻度でシャンプーするのが良いですか？」とよく聞かれます。一般的には冬は乾燥しやすいため月1回、春はアレルギーのワンちゃんも多いので月2回、夏は汚れや臭いが気になるようなら間隔を1週間～10日間はあけて洗うのがよいとされています。洗すぎは皮膚に必要な脂分を奪ってしまうので、当院ではそれに対応したシャンプーをお薦めしています。また、皮膚病用のシャンプーもご用意しております。

病院からのお薦めシャンプー



オーツシャンプー 普段のお手入れに最適。
クロルヘキシジンシャンプー 皮膚病の時に。

1. 体→顔をぬらす

シャンプーするときは、年中関係なく37℃前後のぬるま湯で洗いましょう。これは汚れがよく落ちる温度で適温とされています。まずお湯の温度を確認してから、足やお尻など嫌がりにくい部分から前の方へぬらしましょう。いきなり顔からぬらすのはシャンプーを嫌いになる原因に…。



- シャワーヘッドを体に密着させると、強く当たる感触が少なくワンちゃんも安心します。
- シャワーを出し始める音を怖がるワンちゃんもいます。シャワーヘッドを手で覆いながらお湯を出したり、お湯を張った洗面器の中で出すと良いでしょう。

2. シャンプーをつけて洗う

ワンちゃんとは皮膚の構造が違うので、ワンちゃん用のシャンプー剤を使いましょう。目に入ったり、なめてしまっても大丈夫のように作られているものが多いです。適量（十分に泡立つ量）を全身にまんべんなくつけ、お尻側から始めていきます。



- 尾…先からつけ根へと逆立てるように洗って下さい。この時、強く引っ張りすぎないように注意しましょう。
- 足…指の間は汚れているのに忘れがちです。指を開いて表裏の両方から洗いましょう。
- 胸・首…あご下に指を引っかけ顔をもち、上を向かせると洗いやすくなります。
- 顔…シャンプーが目に流れないように、しっかり泡立ててから洗いましょう。少しくらいなら眼に入っても洗い流せば良いでしょう。心配な方は眼軟膏を付ける事で、シャンプーが眼に入ってしまった時の予防になります。



3. すすぐ

今度は逆に顔から先にすすぎましょう。顔に泡がついていると嫌がるワンちゃんが多いからです。顔をすすいたら、お尻側から毛を分けて下毛と地肌をしっかりとすすぎましょう。



- 腹と脇下は背中から流したお湯を手で受け皿のようにしてすすぎましょう。
- 小型のワンちゃんは、洗面器のお湯を手ですぐい、上から少しずつかけると怖がりません。
- 特にマズルの短いワンちゃんはお湯が鼻に入らないように注意しましょう。

4. 乾かす

体をタオルで拭きます。タオルドライを十分にすることによってドライヤーで乾かす時間を短縮できます。



- 毛並みとは逆に拭き上げると、根元までよく乾きます。



ドライヤーをワンちゃんの体から30cm以上離し、同じ場所に風を当てないようにして下さい。手ぐしよりブラシを使った方が毛がまっすぐになり早く乾きます。夏はドライヤーを使わないという飼い主さん多いらしいですが、毛が濡れたままだと蒸れて皮膚病になるので、なるべくドライヤーで早く乾かしましょう。



- 胸・わき・股…犬と向かい合わせで前足を立てて乾かす時間を短くします。
- 足の裏…肉球の間も忘れずに指を開いてドライヤーを当てます。



おうちでシャンプーするとワンちゃんが嫌がったり、服が濡れてしまったりと面倒なこともあります。しかし、シャンプーは自分でやればやるほど上手にできるようになります。また、正しい手順を覚えればワンちゃんも嫌がりにくくなり、シャワーやドライヤーにも慣れて怖がることもなくなりますよ。

夏の注意

散歩は、早朝あるいは夕方涼しくなってから行きましょう。「日中でも、風があるから5分くらいなら大丈夫」と思う人もいますが、絶対にやめましょう。

日中の路面（アスファルト）は、表面温度が50℃を越えることもあります。特に、マンホールの上はそれ以上の温度になります。なげなくマンホールのふたを踏んでしまつて、肉球をやけどしたワンちゃんも毎年みられます。

やけどの症状には段階がありますが、皮膚に赤みが出る程度から、水ぶくれができ皮がむけてしまうものなど様々です。

もし散歩の後に、ワンちゃんが足の裏を何度もなめるしぐさをしていたら、やけどの初期症状かもしれません。その場合、すぐに教えて下さいね。

散歩に行く前に、アスファルトをさわってみて、熱くないかを確認してから出かけるといいですね。

「ペットホテル」について

「ワンちゃんネコちゃんのペットホテルは行っているのか？」とのお問い合わせが年々多くなっています。

当院では、混合ワクチンを注射しているワンちゃん、ネコちゃんのお預かりを行っています。ペットホテルを希望される方は、予定が決まりましたら早めにご連絡下さい。

